



**新年明けましておめでとうございます。  
本年も変わらぬご愛好の程、よろしく御願  
い申し上げます。**

新年明けましておめでとうございます。

今年の年明けは、例年の冬らしく寒かった日が続いたのですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、リーマンショックにより、世界同時不況の影響のさなかということもあり、景気のいい話がまったく聞けず、特に先進国程、その影響が強かったような気がします。発展途上国はといえますと、中国、インドを筆頭に、政府の景気刺激策が効を奏し不景気の風は何処を吹くやらで、高度成長期の真ただ中にあり、その恩恵に預かり、日本のスクラップも昨年は、輸出価格に引っ張られる形で、谷底から脱却できた年でもありました。今年は？といえますと、新政権になり、箱物や企業優遇から働く人への優遇へと大きく舵をきり、皆さんもテレビでご存知の通り、事業仕分けにもあるように無駄の徹底的なカットが行われました。その中には、無駄？と言われているダムのような公共工事なども多岐に渡り中止に追い込まれてもいます。公共工事は、多くの労働力が必要であり雇用も生まれます。当然、鉄筋やH鋼などの製品なども多く使われ、その原料となるスクラップも多く使われることになり、資源循環の波にも乗れます。しかし今回の事業仕分けで大幅にカットされた為に、メーカー各社の生産量は激減しました。ただ中国が好調な為、今は、メーカーでも製品前の状態であるピレット(長方形の鉄の塊で、成分調整なども済んだ物)を輸出して、生産量を落とし過ぎない様に対応している所もあります。ただ日本の2009年暦年の粗鋼生産量は8770万トで、それまでの1億2千万トから大幅な減産量になり、38年前の1971年頃の生産量まで後退してしまいました。そしてこの先ですが、エコ減税に伴う車、家電系は、若干上向き気配がありますが、あくまでも期間が限定で、一度買い換えれば直ぐには次の購

入には結びつかず、景気刺激策は単発で終わる可能性があります。さらに物から人へのパラダイムシフトを新政権は考えているようですが、高齢者が増える上に、人口が減り続け、さらにCO<sub>2</sub>の排出を誰の断りも無く25%削減と世界に声高らかに宣言してしまい、より企業に負担増を強いてしまうのは、国際競争力を削ぎ落とし、強いては国益にマイナスとしか言いようがありません。企業が国際競争力を落とし、企業の規模を最低限維持できなければ、雇用も生まれず、決して人には優しくない状態に陥ります。

それを支えようと国が保護すれば、ただでさえ借金まみれの赤字国債の乱発を招き、次の世代にツケをまわす事になります。その様な世の中では、人は子を産み育てようという気にはなれず、さらに少子化にも拍車がかかります。地球温暖化も判りますが、産業界と話し合いを持ち、(学者は所詮机上の空論しか言わないので)実現可能な目標の設定と、それに向けての国の支援体制を整える事が、物事を現実的に推し進めるのではと考えています。さて話が十分それましたが、その様な事から、高炉などが、規制の緩い海外へ出ていく可能性を新聞紙などが伝え始めてきました。

当然、**地産地消がコストダウンにつながるから、自動車や家電系企業も消費の多い海外へより加速して出て行くことになるのは必然と思われる**。そのような事から、内需も期待できず、スクラップの発生増も見込むのは難しくなっています。

日本だけ見てみますと、消費が少ない為に、スクラップ価格は上がりづらくなりますが、**世界的に見ますと、ほぼ同価格で動く為、今年も中国・韓国向けの輸出価格主導型で相場形成されると思われる**。この先の個人的希望ですが、このまま第2の金融危機が起きない事が前提にあるならば、スクラップ価格は、中国などの発展途上国の需要がある為に、まだ上がると思われる。ただし、昨年は明らかにバブルだった為、最高でもその時の半値以下が天井価格では？と考えています。話は非鉄に変わりますが、今現在、銅が昨年の教訓が生かされていないのか、一部の金の亡者の欲望を満たす為なのか、上がり続けていて、昨年の天井価格の70%以上近くも戻して、需要に対しあまりにも早いペースとなっています。これは個人的には、非常に危うい状況にあると言えます。現物を扱う側としましては、又昨年の悪夢にならない事を祈るだけしかできないのですが・・・。

コラム

**削減、削減と無駄の切捨ては大変結構ですが、国会議員さんに一言、「まずは自分達の賃金カットと定数の削減による経費の削減が先じゃないの？この国を企業に例えると、債務超過で破産宣告か？」企業の努力を無駄にするな！**